

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	1-(2)-ア	3Rの推進	施策	② 未利用資源の活用の推進	
			施策の小項目名	○バイオマスの活用	
主な取組	未利用資源活用畜産オガコ生産モデル事業			実施計画記載頁	27
対応する主な課題	①本県の世界に誇る自然環境を保全することに加え、本県は狭隘な地理的条件にあることから、廃棄物の減量化など環境負荷を軽減する循環型社会を構築する必要があり、県内で発生した廃棄物の有効活用が求められている。				

1 取組の概要(Plan)

取組内容		年度別計画				
		H29	H30	R元(H31)	R2(H32)	R3(H33)
畜産農場の環境改善に使用されている「オガコ」の安定供給・価格・品質の問題を解決し、環境保全型畜産の推進、循環型社会の構築を図るため、せん定枝等木質系未利用資源の活用及び県内産オガコ生産・利用モデルを作成する。						
		未利用資源の活用促進				
実施主体	県					
担当部課【連絡先】	農林水産部畜産課		【098-866-2269】			

2 取組の状況(Do)

(1)取組の進捗状況 (単位:千円)

予算事業名 未利用資源活用畜産オガコ生産モデル事業							R元(H31)年度		平成30年度活動内容と令和元年度(平成31年度)活動計画
主な財源	実施方法	H26年度 決算額	H27年度 決算額	H28年度 決算額	H29年度 決算額	H30年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	OH30年度: せん定枝オガコの原料供給・生産・利用・処理体制を確立するため、オガコの効率的な乾燥方法の検討や、農家における実証試験を実施した。 OR元(H31)年度: —
							一括交付金(ソフト)	委託	

予算事業名							R元(H31)年度		平成30年度活動内容と令和元年度(平成31年度)活動計画
主な財源	実施方法	H26年度 決算額	H27年度 決算額	H28年度 決算額	H29年度 決算額	H30年度 決算見込額	当初予算額	主な財源	OH30年度: — OR元(H31)年度: —

様式1(主な取組)

活動指標名 未利用資源の活用促進					H30年度			H30年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値					実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
実績値					—	—	100.0%	10,458	順調	<p>せん定枝オガコの原料供給・生産・利用・処理体制を確立するため、オガコ生産に係る試作や乾燥試験、農家における利用実証、堆肥化試験等を実施した。</p> <p>オガコ生産については、ふるいによる選別機を機種選定し、農作業や家畜の安全面に影響のある微粉末の割合が低いせん定枝オガコを製造した。</p> <p>進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果</p> <p>未利用資源の活用促進について、せん定枝オガコは含水率の高さに課題があったため、効率的な乾燥方法を検討し、原料の破砕前乾燥を行ったところ、目標品質である含水率30%を達成したことから「順調」とした。また、堆肥化試験において、せん定枝オガコを副資材に用いた堆肥の肥料成分は、推奨基準を満たしており、利用に問題がないことが確認された。</p>
活動指標名					H30年度					
実績値										
活動指標名					H30年度					
実績値										
(2)これまでの改善案の反映状況										
平成30年度 of 取組改善案						反映状況				
<p>①せん定枝オガコの効率的な乾燥方法について検討する。</p> <p>②せん定枝オガコ利用に係る実証を行い、県内産オガコ利用を推進する。</p>						<p>①含水率の高いせん定枝について、破砕前後における乾燥方法を検討した結果、破砕前の原料を3週間以上屋外保管し、晴天時に破砕後、屋内保管することが最も効率が良い乾燥方法であると考えられ、目標品質である含水率30%を達成することができた。</p> <p>②養豚農家において、せん定枝オガコと廃材オガコを比較した実証試験を行ったところ、省労力効果や使用感に差異はなく、せん定枝オガコが豚の肥育期間全日を通して利用可能であることを実証した。</p>				



様式1(主な取組)

3 取組の検証(Check)

(1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)

○内部要因

・微粉末が少なく、含水率の低い高品質なせん定枝オガコを生産し、農家へ供給するためには、機器等の導入が課題となる。

○外部環境の変化

・本県は畜産向けのオガコ工場が少なく、島しょ県で移入にコストがかかることや、県内産オガコが粗くばらつきがあり畜産に不向きな場合も多いことなど、オガコの安定供給、価格及び品質に課題がある。

(2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・高品質なせん定枝オガコを生産する機器等を導入するため、他県の事例を検証し、農家や産廃業者等を組合員とした敷料生産組合の形成や補助金の活用を検討する必要がある。



4 取組の改善案(Action)

・他県の事例を検証し、敷料生産組合の形成を検討する。